
関市立関商工高等学校

校長 武田 理

学校住所 岐阜県関市桐ヶ丘一丁目1番地 電話 0575-22-4221

1 会議の名称 第2回関商工高等学校運営協議会

2 会議の構成 委員長 水谷 透 中部学院大学 入試広報課課長
副委員長 山田美穂子 関印刷有限会社 取締役社長
委員 加藤 洋子 国際ソロプチミスト関 広報委員長
北瀬 美幸 関美濃保護区保護司会 保護司
波多野篤志 青協建設株式会社 取締役副社長
古田あゆみ 関市立関商工高等学校 P T A会長
田中 雄貴 関青年会議所 理事長

(敬称略)

学校側 武田 理 校長
市川 浩通 副校長
中村 進 事務長
服部 幸広 教頭 (全日制商業)
藤原 竹志 教頭 (全日制工業)
金本 淳 教頭 (定時制)
棚橋 英一 教務主任 (全日制商業)
野口 晃弘 教務主任 (全日制工業)
石原 桂 教務主任 (定時制)
井川 茂雄 生徒指導主事 (全日制工業)
林 秀記 進路指導主事 (全日制商業)
竹内 友紀 商業科主任 (全日制)
牛丸 憲一 工業科主任 (全日制)

3 会議の目的 学校に在籍する生徒の保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携の強化を推進することにより、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組む。

4 会議の開催 令和3年11月2日(火) 13:00~15:30 商業科棟
委員6名 学校13名 出席

5 会議の概要 I部

- (1) 工業科・商業科の教育活動について
- (2) 授業見学(商業科)

II部

- (1) 授業見学を終えて、ご意見・ご提言
- (2) 学校側からの説明
 - ・各分掌の重点目標と具体的取組と方策について(中間報告)教務部、生徒指導部、進路指導部

- ・定時制の重点目標と具体的取組と方策について（中間報告）
- ・ご意見・ご提言
- (3) スクール・ポリシーの策定について
 - ・作成案について説明
 - ・質疑応答

6 5 会議の概要 I部 (2) 授業見学（商業科）についての感想等

【ご意見1】

少人数コースでは、マンツーマンできめ細やかな授業であった。また、生徒が学びたいことをしっかり学んでいた。

【ご意見2】

学習設備が充実しており生徒は恵まれている。設備の活用も含め、社会の変化に対応した授業を実践していただいております、先生方の日頃から授業準備も大変だと感じた。

入社してくる関商工高校の生徒は、会社になじむのが特に早いと感じている。これは、関商工高校が課題授業で地域社会に接する授業を実践しているからと推察する。今後も、課題授業の継続やボランティア活動で異年齢の方々と関わるような実践を進めて欲しい。

【ご意見3】

授業参観では、先生方の授業準備がしっかりされており、生徒はどの教室もしっかり授業を受けていた。授業を楽しく受けることは高校生には大切なことである。特に、専門教科で活発に授業に参加していた。また、昨年度と比較し情報処理室は、グループ学習に対応できる机となり工夫されていた。

【ご意見4】

卒業後に社会で活躍できる生徒の育成を目標としていることが伝わる授業であった。充実している学習設備を有効に活用して欲しい。

➤ 質問1 教室によって、生徒数が異なっていたが何故か

➤ 回答1

本校の商業科は、括り募集で総合ビジネス科の生徒を募集している。1年生の夏頃から、2年生以降の各専門コース（会計・情報・流通）の選択について説明し、12月の保護者懇談で決定する。生徒自身が学びたい学習ができ、その環境が整っている。各コースに人数制限はなく、人数調整にも問題ない。

【ご意見5】

楽しい雰囲気での授業であった。教室でのクラスターが心配であったが、各教室にはコロナ対策がしっかりしており、安全の配慮が徹底されていた。

机上の学習だけでなく、実業高校らしく、本町テラスなどで夢を形にする教育がなされている。これは、生徒が、将来の夢について語ることで純粋な心を育てる学習の場となっている。

各教室に目標が掲げてあった、同じ目標に向かって生徒が頑張る教育は素晴らしい。生徒が、楽しい学びを多く経験することで、今後のつらい事を乗り越えられる。楽しく夢のある教育を継続して欲しい。

【ご意見6】

授業で学習したことを、課題学習で実践できる場所が増えていることが分かった。先生方の一生懸命な教育が伝わってきた。また、授業参観では、生徒の生き生きとした姿を見られた。

7 5 会議の概要 II部 (2) について 学校側からの説明に対するご意見・ご提言

➤ 質問1

「学校アンケートの保護者の回答で、ボランティア活動が理解されていない割合が高いがどうか。」

➤ 回答1

コロナ禍の影響で、計画していたボランティア活動が実施出来ていない。生徒から保護者に伝える

内容が無いのが現状である。ボランティア活動が再開すれば、回復するものと思われる。

【ご意見1】

関商工生の挨拶は、他校と比較して良い。多様性の中で生徒の個性も大切であるが、その個性を大切に、生徒の意見を取り入れながらも、関商工の挨拶・制服の着こなしなど、守るべきブランドは大切に、ルール遵守をしっかりと指導していただきたい。

いじめ・情報モラル・交通事故等、社会には思わぬ危険や事故がある。関市は安全な町ではあるが、社会に出た時に、生徒が何処に危険があるかを考える安全教育が必要だと考える。

校舎は老朽化しているが、学習設備は整備され、清掃は行き届いている。そんな中、照明器具は蛍光灯が多い。生徒の目の健康を考えるとLED照明にしてはどうか。

➤ 質問2

「生徒・保護者へのアンケートの回答者数と回収率は。」

➤ 回答2

生徒対象のアンケートは、全員回答で回収率はほぼ100%。

保護者へのアンケートは、各クラス10名の保護者が回答し回収率は100%。

【ご意見2】

いじめは無くなっていない。SNSでの誹謗中傷など、目に見えないところの問題も多い。関商工の生徒には、このことで悩む生徒がいないように、先生方にはいじめの定義を理解していただき、生徒の変化に敏感になって欲しい。担任だけでなく全ての先生で、生徒の様子を敏感に感じ取って頂きたい。

➤ 質問3

「心のアンケートで、具体的事例はあったか。事例があった場合の対応は。」

➤ 回答3

心のアンケートでは、悩みがあると回答した生徒はいなかった。今年からタブレットで、心のアンケートに回答している。全ての悩みを把握できているか不透明であるが、心のアンケートとは別に年3回の「いじめアンケート調査」の実施と随時の教育相談で対応している。また、職員間だけでなく、保護者とも情報共有をして対応している。

職員は年間5回、いじめに関する研修を行っている。いじめの定義は全職員が理解している。また、生徒も「いじめの定義」を理解して入学するので、保護者・生徒からの早い情報発信で早期対応が出来るようになった。

11月17日(水)に、生徒に「SOSの発信の仕方」についてカウンセラーに講演していただく。本校も、生徒がSOSを出せる環境を早急に整えている。

➤ 質問4

「コロナ禍で、リモートでの面接が増えていると思うが、その対応はどうなっているか。」

➤ 回答4

今年度は、4名がリモート面接であった。本校ではリモート面接のマニュアルを作成し配布している。

➤ 質問5

「コロナ禍であるが、定時制の生徒には影響があるか。その場合の授業の対応は。」

➤ 回答5

現在、21名が就業している。多くがファストフード店、コンビニエンスストア、ホームセンターで働いている。昼間に働いており大きな影響はない。給料が減った生徒はいる。

【ご意見3】

制服の強度を改善して欲しい。また、無償で制服の破れが直せることを知らない保護者もいると思う。保護者に無償で直せることを周知して欲しい。また、制服がインターネットで購入できるのはよいが、実際の購入は岐阜でしか買えない。

【ご意見3に対する追加説明】

本校は、生徒の9割が自転車通学であり、ズボンが傷みやすいのが現状である。保護者へ制服が無

償で直せることを再度周知する。

➤ 質問 6

「オープンスクールの事前案内の方法については。」

➤ 回答 6

県内の全ての中学校に、メールで案内している。メールの宛先が不明な場合は、案内文を郵送している。また、ホームページへの掲載も行っている。現在、本校には SNS が無いので、今後は Facebook 等の SNS での発信も考えていきたい。

➤ 質問 7

「11月の参観日（ふるさと教育週間）は、どのように実施するのか。地域の方の参観は。」

➤ 回答 7

11月10日（水）に実施する。どなたでも参観でき、今年度は中学校の先生方にも案内した。詳細は、ホームページにも掲載している。

【ご意見 4】

アンケートで多くの生徒・保護者から意見を聞くことは大切である。アンケートに回答することで、生徒・保護者が学校生活の現状を評価し再確認できる。また、その結果を情報発信することで生徒・保護者が学校の現状を把握できる。

生徒指導では、校則の見直しがされているが、生徒の身だしなみも大切である。（生徒を縛り付けるものではなく、）一般市民として守るべき基準は必要である。

いじめ防止等には、ライオンズクラブなど青少年育成に力を入れている団体の事業を活用し、青少年の心の健全な成長に役立てて欲しい。外部団体の講演は、説得力があり生徒に強いインパクトを与える。

【ご意見 5】

ICTの活用は当たり前の時代となった。ズームでの面接等に生徒が対応できるようにして頂きたい。生徒指導には、いじめ問題等には早期対応をして頂きたい。また、定時制の生徒には、更に手厚い指導をお願いしたい。

スクール・ポリシーの「育てたい生徒像」に、基礎学力が重複しているが、目標に対して大きくずれているわけではない。同じ目標を狙っているのでこれでよい。スクール・ポリシーの内容を確認したがこれでよい。委員の皆様も、ご意見があれば学校に連絡して欲しい。

➤ 質問 8

「昨年の日商簿記1級の進路先は。」

➤ 回答 8

国家公務員・国税庁に就職した。

9 会議のまとめ

・第2回学校運営協議会において、今年度の学校の取り組みの中間報告を行い、委員の皆様から、多くのご意見をいただきました。「スクール・ポリシー」の策定及び学校運営の改善にいかしていく。